

2021 年度 第 3 四半期決算 Web 会議 主な質疑応答

※本内容は、書き起こしではなく、会議での質疑応答の内容を弊社にて簡潔にまとめたものです。あらかじめご了承ください。

Q. スカイツリーの損益分岐点来場者数は、以前よりも下がっていると考えられるが、どのようなコスト削減を進めたのか。また、この状態は来期以降も継続できるのか。

A. 業務の内製化・IT 化による業務委託費の削減等を行い、今後も損益分岐点入場者数を引き下げられる体質を目指して事業構造の改革に取り組んでいる。

Q. 通期見通しの前提条件に対して、足元の動向をどのように見ているか。

A. 事業により多少のブレはあるものの、現時点ではほぼ想定通り推移している。

Q. 第 3 四半期のレジャー事業その他が、第 2 四半期から 46 億円増益となった要因は何か。

A. 主に旅行業における 7～9 月の旅行収入（12 月決算）が集中的に入ったことや、コロナワクチン関係等の受託収入によるものである。

Q. 通期見込みには、コロナワクチン 3 回目接種関係の受託収入は織り込んでいるか。また来期以降も引き続き受託業務を請負うのか。

A. 1 月以降の受託収入は、来期以降に反映される。今後についても、引き続き自治体等からの受託業務を幅広く取れるように進めていく。

以 上